

2月定例記者会見

平成27年2月2日（月）午前11時～
ハイトピア伊賀5階 学習室2

1 市長からの発表

(1) 住民懇談会の開催について

- ・伊賀市の賑わい創出に向けた南庁舎等利活用
- ・伊賀市地域公共交通網形成計画（素案）及び伊賀鉄道伊賀線の維持存続

2月25日から3月9日までの間、市内の7つの会場で、伊賀市の賑わい創出に向けた南庁舎等利活用と、伊賀市地域交通網形成計画及び伊賀鉄道伊賀線の維持存続の2つのことについて、市民の皆さんと懇談会を開くことといたしたいと思います。時間は午後7時から2時間程度ということで、2つの事柄について説明や質疑、あるいは意見交換をしていきたいと思っています。

懇談会に先駆けて、庁舎移転後の南庁舎の保存、利活用をし、伊賀市の賑わい創出に向けての取組として、1月14日には「南庁舎利活用説明会」、また、1月25日には「坂倉準三学習会」を開きまして、市民の皆さんから意見をいただいているところです。

後ほど、行事予定でも説明がありますが、2月7日には「不易流行 図書館の役割と賑わい創出」、9日には「新芭蕉記念館と中心市街地活性化」と題しまして、説明会と学習会を開くこととしています。

合わせて4回の説明会・学習会でいただいた意見等を集約して、より多くの市民の皆さんと懇談し意見交換をすることを目的としています。

人口減少、超高齢社会の中で、税収の減など大変厳しい財政状況が避けられない状況の中で、公共施設最適化はもちろん、持続可能なまちづくりに向けて、まち中の再生・賑わい創出が重要課題となっています。南庁舎をはじめとして、上野市街地にある既存の資源や施設を活用した集客施設の拠点づくり、こうしたことで交流人口の増加による賑わいを創出して、市街地が活性することで、さらには周辺地域への経済波及効果によって全体の賑わいの創出をめざしていくということでもあります。

また、同時に、伊賀市地域交通網形成計画（素案）及び伊賀鉄道伊賀線の維持存続についても意見交換をすることとしています。現在、市では持続可能な新たな交通計画を策定中です。今回、新たな交通計画である「伊賀市地域公共交通網形成計画」の基本的な考え方や、市の公共交通の軸として地域の活性化を図るうえでの大変なルールであると考えている伊賀鉄道伊賀線の今後の維持存続について、市民の皆さんと懇談することとしています。

(2) 伊賀流忍者 PR 映像「秘伝 伊賀流忍術の奥義」完成について

伊賀上野観光協会と甲賀市観光協会が中心となって2月22日を「忍者の日」に制定し、2月2日から22日までを「忍者月間」として、忍者に関係のある団体等が全国各地でイベントを企画しています。

三重県、伊賀市、名張市、両市の観光協会、三重大学で構成する「伊賀流忍者観光推進協議会」が今年度製作していた、海外向け伊賀流忍者 PR 映像「秘伝 伊賀流忍術の奥義」が完成しました。

この映像作品はインバウンド誘致にかかる海外でのイベントや商談において、忍者の本場は三重県の伊賀地域であるということを PR するために製作されました。上映時間は8分間で、全編を通して、伊賀流忍者博物館でショーを行っている伊賀忍者特殊軍団阿修羅のスピード感あふれる忍者の技を説明しています。海外や外国人に向けた PR 映像であるため、説明よりも動きを重視した構成となっており、最後には伊賀への誘客も行っています。

この映像作品の魅力は、阿修羅のアクションもさることながら、映画の手法により撮影を行っているところにあります。日本を代表するアクション俳優であり、監督としても数々の映画を手がけている坂口拓さんが製作総指揮、監督を行っていただいています。一般的な観光プロモーション映像とは違う、迫力ある映像となりました。

実は、昨年11月に三重大学とスペインのバレンシアに行った際に、この映像の未完成のバージョンを上映しましたところ、若い学生が大変興味深く見入っていました。また、来場の一般市民の皆さん、あるいはプロフェッサーにも大変ご好評をいただいたということでありますので、外国人に喜んでいただけるものと確信しています。

今後の展開としては、インターネットの動画投稿サイトである youtube(ユーチューブ)に掲載し、各団体のホームページ、SNS を通じて世界中に発信していくことを予定しています。

また、今年6月に出展を予定しているミラノ国際博覧会会場での上映はもちろん、海外だけでなく日本国内のイベントにおいても積極的に上映していくこととしています。今日も記者の皆さんに DVD を配布しておりますが、ただいまから上映いたしますのでご覧ください。

(主な質疑応答)

(記者) 住民説明会には市長も出席しますか。

(市長) 当然、出席します。

(記者) 伊賀線については、公有民営化の方向性で計画を作っていて、それを住民に説明するということですか。

（市長）伊賀線、鉄道というものが、この地域において、どのような地位を占めるのか、意味を持つのかというようなことから、しっかり認識をいただき共有しようということです。

（記者）必要だということですね。

（市長）すでに無くなったところもある訳ですし、同じような形で実現しているところもありますので、そういったことも合わせて考えながら鉄道の持ついい意味を皆さんと共有しようということです。

（記者）この段階では素案はできているのですか。

（市長）素案に基づいてです。

（記者）成案はいつごろの予定ですか。

（総合政策課長）公共交通網形成計画については、4月以降に中間案、また、6月中には成案というスケジュールを決めています。

（記者）形成計画の中に伊賀鉄道の存続が入っていますか。

（総合政策課長）形成計画の中には、当然、伊賀線の存続を踏まえた施策を盛り込んでいくということで進めています。

（記者）南庁舎の懇談会は、昨年末に議会で住民合意ができていないということで予算が削られましたが、それに基づいたものですか。

（市長）住民合意とか、住民に対する説明が十分ではないかといったご指摘でありましたので、皆さんに良いアイデアがあればお伺いし、賑わいづくりのために活かしていきたいということです。7日には、図書館というものが、これまでの図書館とはまったく違うと図書館ということの話を高倉先生からお話しいただけるということですし、9日には「新芭蕉翁記念館と中心市街地活性化」ということで、賑わいづくりに寄せる影響というものを共有していこうということです。

2 2月の主な行事予定

(1) 伊賀市の賑わい創出に向けて～課題と可能性を探る～

○第2回 「図書館整備に関するシンポジウム」

日時：2月7日（土） 午後7時～午後9時

場所：ハイトピア伊賀3階ホール

○第3回 「新芭蕉記念館と中心市街地活性化」

日時：2月9日（月） 午後7時～午後9時

場所：ハイトピア伊賀3階ホール

問い合わせ先：中心市街地推進課（22-9825）※第2回、第3回とも

(2) 中部国際空港セントレアでの伊賀流忍者観光PR事業

日時：2月10日（火） 午前10時30分～午後3時

場所：中部国際空港（愛知県常滑市）イベントプラザ

内容：大型ビジョンでの映像上映及び忍者体験コーナー設置による観光PR

問い合わせ先：観光戦略課（22-9670）

(3) 第8回美し国三重市町対抗駅伝開会式・市町交流会

○開会式

日時：2月14日（土） 午前11時～11時45分

場所：津センターパレスホール

内容：優勝杯・優勝旗返還、たすきの授与及びチーム紹介、選手宣誓

○市町交流会

日時：2月14日（土） 正午～午後1時

場所：津都ホテル「伊勢」

内容：交流会

問い合わせ先：スポーツ振興課（22-9635）

(4) 第8回美し国三重市町対抗駅伝

日時：2月15日（日） 午前8時45分スタート

場所：県庁前（津市）～「三重交通G スポーツの杜 伊勢」

（県営総合競技場陸上競技場）（伊勢市）

問い合わせ先：スポーツ振興課（22-9635）

(5) 所得税、市・県民税の申告相談

○所得税、市・県民税合同申告会場

開設期間：2月16日（月）～3月16日（月）※土・日曜日を除く

開設時間：午前9時～午後5時

（ただし、会場の混雑状況によっては、終了時刻前に受付を締め切ることがありますので、午後4時ごろまでにご来場ください。）

会場：ゆめドームうえの第2競技場

○市・県民税申告相談会場

月日	場所	時間
2月12日（木）・13日（金）	島ヶ原支所 2階会議室	※いずれも相談時間は午前9時30分～正午と午後1時～4時 （受付時間：午前8時30分～）
2月18日（水）・19日（木）	大山田農村環境改善センター 多目的ホール	
2月25日（水）・26日（木）	あやま文化センター 会議・工作室	
3月 4日（水）・ 5日（木）	いがまち保健福祉センター 研修室	
3月11日（水）・12日（木）	青山福祉センター 教養娯楽室2	

（ただし、定員になり次第、受付を締め切ります。）

問い合わせ先：課税課市民税係（22-9613）・上野税務署（21-0950）

3 その他（主な質疑応答）

（記者）忍者のPR映像はユーチューブでの配信ですか。

（観光戦略課長）先ほど見ていただいた映像はプロモーション用で8分のショートバージョンとなっていますが、それとは別に販売用の30分バージョンも作っております。そちらは春から販売できたらと思っています。販売のほうは伊賀上野NINJA フェスタ実行委員会で販売させていただく予定です。

ショートバージョンは、広く普及させていきたいと思っていますので、フリーでどんどん露出させていただきたいと思います。

（記者）ミラノ万博でも使用しますか。

（市長）当然、パフォーマンスの間に随時流していきたいと思っています。

（記者）ユーチューブへのアップはいつからですか。

（観光戦略課）一般公開は明日からです。

（記者）製作費はいくらですか。

（観光戦略課長）ショートバージョンは108万円、30分バージョンは216万円です。

（記者）支出は推進協議会からですか。

（観光戦略課長）ショートバージョンは伊賀流忍者推進協議会で、30 分バージョンは伊賀上野 NINJA フェスタ実行委員会で支出しています。

（記者）高倉先生は、なぜ不易流行なのですか。

（市長）図書館機能として外してはいけないもの、それが変わらないもの、流行というのはこれからの図書館のあり方、それは、単なる図書の貸し借りだけでなく、知の拠点であったり、賑わいの拠点であったり、ゆとり潤いの拠点であったりというようなこと、それが不易流行という芭蕉の精神と合致するということで、その言葉を使うということを行っています。大変いいコンセプトだと思います。

（記者）12 月議会で修正削除された南庁舎の基本方針と基本設計について、今後の対応はいかがですか。臨時議会とか。

（市長）とりあえず、その前に市民の皆さんにしっかりとした情報をお届けする、あるいは意見を交わすことが大事なことだと思っています。

（市民）それが各地域での懇談会ですね。その前に臨時議会はないということですね。

（市長）それより前はないです。

（記者）3 月議会に上程の見通しですか。

（市長）できれば早い方がいいということですから、そうしないと中活計画に影響を及ぼしてきます。

（記者）3 月議会中に出しますか。

（市長）わかりません。ただ、早くしないといけないというのは事実です。今後のまちづくりに関わってきます。

（記者）平成 26 年度予算の最終補正はありませんか。

（市長）財政当局との相談もありますし、私の一存では今はお答えできません。

（記者）市の方針としては、南庁舎を残して保存、改修したうえで、図書館を入れるということですね。

（市長）図書館や他の文化施設、観光交流施設を皆さんにどんなふうにしたらいいいですかということです。3 点セットの核ですから、私たちの方針として図書館は入れるということです。最初に言いましたが、持続可能な行財政計画ができなくなります。一番大事なことは何かと言うと、市民への負担が最も少なく、最も大きな効果が得られる方法は何かということです。

（記者）この後、武雄と伊万里の図書館へ行かれますが、どういうことを見て来たいですか。それを懇談会でも話されますか。

（市長）私が見聴きして来たことも話の中で話していくことになるでしょう。でなければ行く意味がありません。武雄はいわゆるトップダウン、伊万里はボトムアップという形で頑張っておられる図書館です。1月27日に東京代官山のツタヤも見て来ました。大変大きな知見を得ることができました。図書館というのは、地域づくりには欠かせないコミュニティツールだと思います。

（記者）伊賀支所の反訴の件について、専決処分はもうされましたか。

（市長）全協でご理解をいただいて専決をして、今度の議会で承認をいただくということです。

（記者）いつ付けで専決しましたか。

（総務部次長）1月22日付けです。

（記者）関係者の処分はありますか。

（市長）しっかりと口頭で注意し、今後の再発防止に向け十分な認識を持つように市政運営会議でも注意しました。また、別に報告に来た際にも支所長と担当にも、今後はしっかり注意するよう厳しく申し伝えています。